

# 東京データプラットフォーム協議会 第1回推進会議 事務局資料

令和3年6月9日

# 匿名投票ツール『Mentimeter（メンティミーター）』のご説明

本推進会議では、スマートフォン等を通し皆様からの投票を実施

## Mentimeter機能の特徴

### 容易な 参加方法

- お手持のスマートフォン等でQRコードを読み取るだけで、**ログイン不要で参加可能**  
(スマートフォン・PC等でコードを入力することでも参加可能)

### リアルタイム 回答表示

- お手持のデバイスで質問に回答すると、ブラウザ上に**リアルタイムで結果を反映**



### 匿名回答

- 皆様の回答は**完全匿名**（事務局も回答者は把握できません）

※会議中何度かご質問をいたしますので、回答画面は会議終了までそのままお願いいたします

# 【Mentimeter®】回答はできましたか？

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください  
(※全て匿名)

Mentimeterによる回答は、会議で  
ご案内したタイミングでのみ可能です



※または、下記URLへアクセスし  
コードを入力してご参加ください  
URL : <https://www.menti.com>  
コード : 8165 4493

A screenshot of the Mentimeter website's entry page. At the top is the Mentimeter logo, which consists of a stylized bar chart with red, blue, and green bars. Below the logo is the text 'Mentimeter' in a bold, black font. Underneath that is the instruction 'コードを入力してください' (Please enter the code). A white input field contains the code '12345678'. Below the input field is a blue button with the white text '参加する' (Join). At the bottom of the page, there is a small grey note that says 'コードは目の前の画面にあります' (The code is on the screen in front of you).

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 1. 開会挨拶

東京都 副知事 宮坂 学

# デジタルサービス局紹介

変革を先導する実行力をもった執行体制を構築し、DXを加速する

行政のデジタル化の遅れを克服

都庁内外に質の高いデジタルサービスを提供

旗振り役・牽引役となる推進体制の構築

デジタルサービス局（令和3年4月～）

## 各局・区市町村のDXを 技術面からサポート

- ✓ 各局DXの取組を技術面から支援（リーディング・プロジェクト支援）
- ✓ 区市町村との連携・DX推進を支援など

## デジタルに関する 全庁統括

- ✓ デジタル関連経費の把握・分析
- ✓ ICT職の全庁的な配置管理に関する調整など

## デジタル人材の結集と 都庁職員の育成

- ✓ 様々なチャネルを使い、デジタル人材を確保
- ✓ デジタル人材だけでなく、都庁職員全体のデジタルスキルの向上など

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 委員のご紹介

今年度の東京データプラットフォーム協議会推進会議委員は記載の5名で構成  
(敬称略・50音順)

**越塚 登**

**東京大学大学院 情報学環 教授**

**佐藤 真希子**

**株式会社iSGSインベストメントワークス  
取締役 代表パートナー**

**庄司 昌彦**

**武蔵大学社会学部 メディア社会学科 教授**

**南雲 岳彦**

**一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 理事**

**日置 巴美**

**三浦法律事務所 弁護士**

# 東京データプラットフォームの目的・名称

データ利活用推進のため、データ提供者・利用者をつなぐ基盤となり、  
流通の加速を通じて、都民のQOL向上を目指します

**TDPF** 東京データプラットフォーム  
Tokyo Data Platform  
略称：TDPF

「官民連携データプラットフォーム」について、  
今年から新たな名称・略称を使用し、推進

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 【振り返り】東京データプラットフォーム事業設立の経緯

平成31年4月～令和2年2月

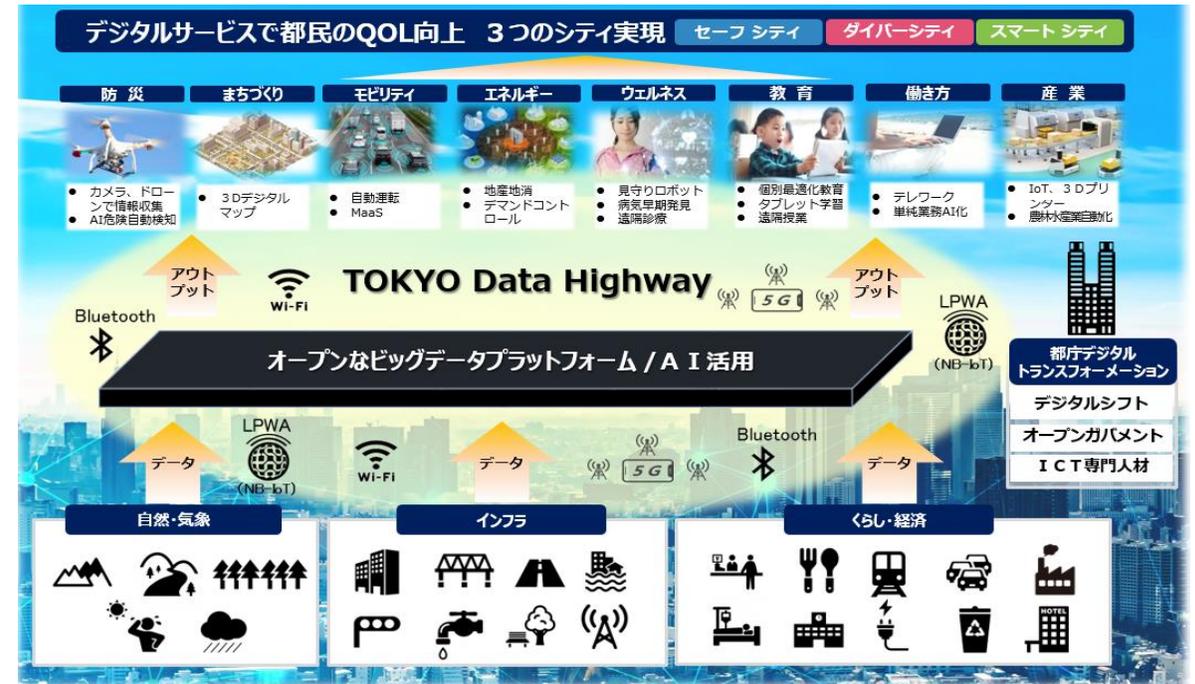
- 東京版「Society 5.0」の実現を目指し、「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会を設置

- データプラットフォーム構築の方策決定



令和2年2月7日

- あり方検討会※1や、戦略ビジョン※2等を踏まえ、スマート東京関連政策の全体像を提示
  - 「スマート東京実施戦略」にてデータプラットフォーム推進を宣言



※1:「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会

※2:「未来の東京」戦略ビジョン

# 【振り返り】東京データプラットフォームの構築に向けた取組

## あり方検討会でのご意見や検討内容を踏まえ、 東京データプラットフォームの構築に向けた取組を実施

あり方  
検討会での  
ご意見等

「産学官でチームを組み、  
各分野の協議会で、  
取組を強力に推進」  
(第5回あり方検討会 事務局資料p.7「今後の進め方」)

哲学「分野横断型の  
データ利活用」  
(第2回あり方検討会 事務局資料p.1「東京都におけるSociety5.0社会実装への方向性」)

「データ利活用に際しては、  
都が率先してガイドラインを  
立てることで進む」  
(第5回あり方検討会でのご意見)



官民連携DPF  
運営に向けた準備会

- 産官学の有識者会議（準備会）やWGを設置し、データプラットフォームの事業内容の横断的な議論等を実施

詳細は14ページ～

官民連携DPFデータ  
利活用実証プロジェクト

- 新型コロナウイルス感染症防止対策をはじめ、社会的な課題の解決等に資するテーマの下、6つのプロジェクトを実施

詳細は21ページ～

官民連携DPF  
ポリシー策定

- 適切な情報の取扱いとデータの利活用促進の両立を目指し「ポリシー策定委員会」を設置し、都民に安心していただくためのルール整備を検討

詳細は24ページ～

昨年度の  
取組

# 令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

## 令和2年度

## 令和3年度

## 令和4年度 以降

事業推進PJ

利用者募集

ユースケース  
創出

ポリシー  
整備・運用

システム  
基盤構築

データ整備

関連PJ

### 準備会

・事業範囲、WGの検討

### WGの設置

・民間事業者等と議論

### データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

### ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る  
ポリシー案1.0策定

### 3Dビジュアライゼーション

・3Dモデル検証

### 協議会

・事業内容、事業計画等の検討  
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

### WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

### 東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

### ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

### データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、サービス/業務/システムの要件検討

### 行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

### デジタルツイン実現プロジェクト

・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

TDPF  
運営組織  
設立

# 【準備会】TDPFの立ち位置・事業概要

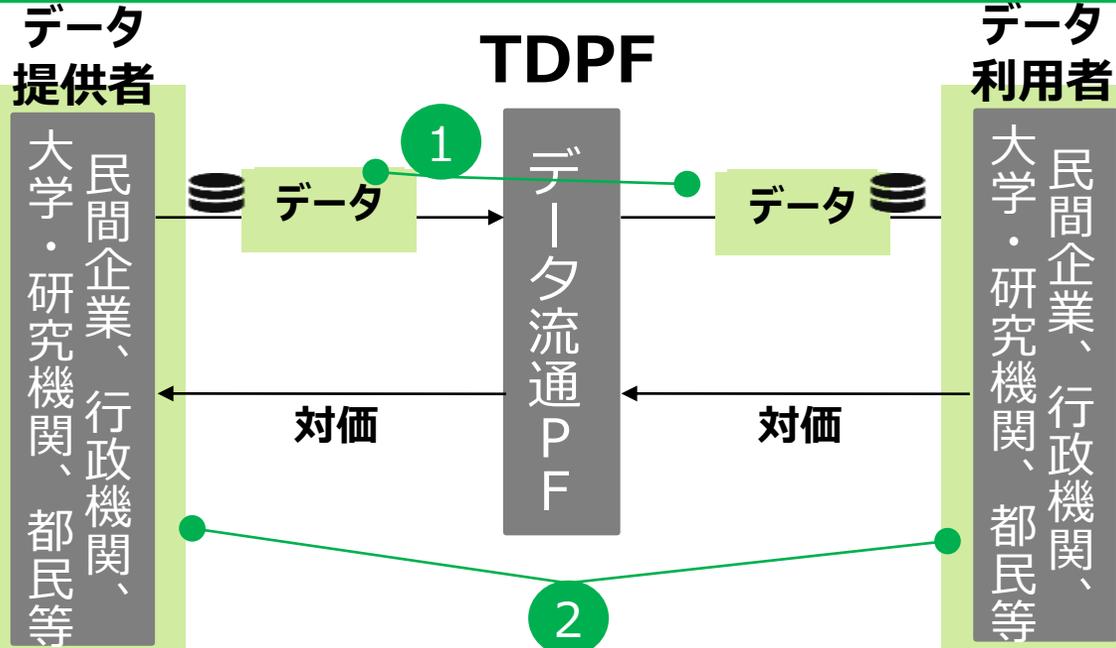
## まずデータ流通推進から取組、段階的な事業拡大を検討



# 【準備会】基本的な考え方とデータの信頼性に係る取組

## 流通を促すために必要な信頼性向上施策を検討

### トラストの基本的な考え方



- 1
- ・データに対するトラスト（信頼）
    - 信頼性を高めるためにTDPFとして一定程度関与
    - データレート※1等のフィードバック機能を検討

- 2
- ・参加者に対するトラスト（信頼）
    - 参加しやすさを重視し必要最小限の取組を実施

### 現在検討中のTDPFの取組（案）

- |            |  |
|------------|--|
| データ品質      | <ul style="list-style-type: none"><li>・データアップロード時に、以下のような<b>必要項目を満たすか提供者に確認・表明し</b>、各種リスクを予防<ul style="list-style-type: none"><li>- 個人情報混在していない</li><li>- データ提供者に確認済 等</li></ul></li></ul>           |
| データ提供の継続性  | <ul style="list-style-type: none"><li>・データの提供停止に係る決定は「データ提供者」が実施</li><li>・<b>利用者に配慮し、停止の一定期間前の事前告知をルールとする</b>ことを検討</li></ul>   |
| 二次利用データの扱い | <ul style="list-style-type: none"><li>・<b>二次利用データ等に関するルールを整理</b><ul style="list-style-type: none"><li>- オープンデータの場合は、基本的に<b>二次利用データ作成者に権利帰属</b></li><li>- 上記以外の場合は、<b>提供者側に帰属</b></li></ul></li></ul> |

※1:特定データに対して、データのタイトル等のそのデータについての情報等（メタデータ）を付与すること

※2:あるデータを複製、改変等を行った上で利用すること

# 【準備会】会員制度と収支の考え方

## 会費・個別サービス利用料を収入とし、持続可能な運営を検討

### 会員制度の基本的な考え方

#### 会員 設計案 概要

- 会員は**自治体・法人・個人**を想定
  - 無料/有料会員と選択可能
- **会員分析やリクエスト等の双方向設計**
  - ログイン機能により会員に自身の取引履歴の提供

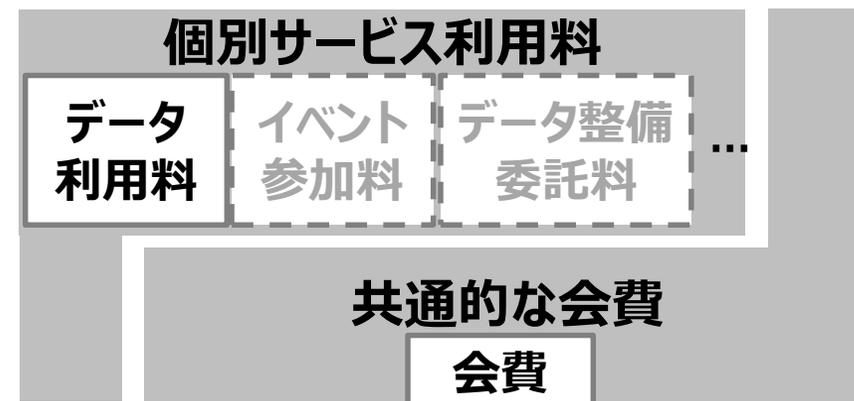
#### 今後の 検討事項

- 会費、データ取引手数料等コスト負担
  - 事業収支が試算可能になった段階で検討・決定
- サイト利用だけではない**会員メリット向上施策（ネットワーキング等）**

### 収支の考え方

#### 収入

- **個別サービス利用料と共通的な会費**

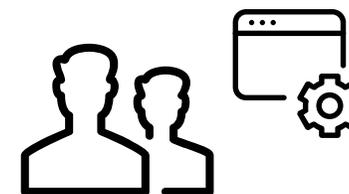


#### 支出

#### 各事業で生じる支出 （主に変動費）

1. データライブラリ
2. データ流通PF
3. ネットワーキング
4. データ整備支援

#### 事業横断で生じる支出 （主に固定費）



組織運営

# 令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

## 令和2年度

## 令和3年度

## 令和4年度 以降

### 事業推進PJ

### 利用者募集

### ユースケース 創出

### ポリシー 整備・運用

### システム 基盤構築

### データ整備

### 関連PJ

### 準備会

・事業範囲、WGの検討

### WGの設置

・民間事業者等と議論

### データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

### ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る  
ポリシー案1.0策定

### 3Dビジュアライゼーション

・3Dモデル検証

### 協議会

・事業内容、事業計画等の検討  
・TDPF利用見込者とのネットワーキングやコミュニティを形成

### WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

### 東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

### ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

### データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、サービス/業務/システムの要件検討

### 行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

### デジタルツイン実現プロジェクト

・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

TDPF  
運営組織  
設立

# 【混雑WG】 目的と取組内容

## 目的

- 混雑領域におけるデータ利活用の具体的な取組を通じて、TDPFでのデータ流通検討の一助とする
- 関係者と連携し、取組を実際に実施し、適宜継続することで、「with コロナ」時代の3密回避に寄与する

## 取組内容

### ① 課題・取組検討

- 「with コロナ」時代の3密回避に寄与する上での、**データ流通にかかる課題とその解決に資する取組の方向性**を検討

### ② 運用ルール等の検討

- 混雑データ利活用の取組を実現するための**運用ルール等の検討・すり合わせ**

### ③ 実施・ルール改善

- **実現性の検証や運用ルール等を絶えずブラッシュアップ**することで、**3密回避に寄与**

# 【混雑WG】ファーストステップの活動報告

協力企業  
募集

- 協力企業の公募を実施し、下記企業と連携協定を締結
  - **データ提供者**：株式会社unerry、株式会社ロコガイド
  - **データ利用者**：エヌ・ティ・ティ レゾナント株式会社、株式会社ゼンリン

## ロコガイド × NTTレゾナントの取組

- **施設混雑情報を3段階でNTTレゾナント提供の「goo地図」にて表示**
- **スーパー/ドラッグストア等都内約4千店舗に導入**
- **ロコガイド「混雑ランプ」の施設混雑情報を使用**



東京しごとセンター総合相談フロアの混雑ランプ



空き 月曜14時台の傾向

Powered by ロコガイド

※「空き」三密でない状況のことです。

サービス  
実装

## ロコガイド × 東京都の取組

関連事業

- 都の窓口等の混雑状況を3段階で表示  
(都各局・ロコガイドHP及びgoo地図)
- **ロコガイド「混雑ランプ」の施設混雑情報を使用**

# 令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

## 令和2年度

## 令和3年度

## 令和4年度 以降

### 事業推進PJ

### 利用者募集

### ユースケース 創出

### ポリシー 整備・運用

### システム 基盤構築

### データ整備

### 関連PJ

### 準備会

・事業範囲、WGの検討

### WGの設置

・民間事業者等と議論

### データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

### ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る  
ポリシー案1.0策定

### 3Dビジュアライゼーション

・3Dモデル検証

## 令和3年度

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

### 協議会

・事業内容、事業計画等の検討  
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

### WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

### 東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

### ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

### データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、サービス/業務/システムの要件検討

### 行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

### デジタルツイン実現プロジェクト

・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

## TDPF 運営組織 設立

# 【データ利活用実証プロジェクト】実施概要

新型コロナウイルス感染症防止対策をはじめ、社会的な課題の解決等に資するテーマの下、令和2年8月から11月まで、約4か月間の実証を実施

凡例 **プロジェクト実施代表者**

3密回避

## 株式会社 MYCITY

- オフィスの疎密可視化・接触履歴による感染症抑制と、ビル・エリアスケールとの相関モデル構築



## 六本木商店街振興組合

- 混雑状況と人の流れ・属性、エリア全体の消費動向等の可視化



交通混雑

## 株式会社MaaS Tech Japan

- 東京データプラットフォーム構築に向けた、公共交通機関の混雑情報提供システムの検討



バリアフリー

## 株式会社ゼンリン

- 「バリアフリー経路情報の精緻化」に向けた、地図整備と交信手法の確立



## 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

- 都民参加による面的・持続的なバリアフリー移動支援情報の整備



防災情報

## 日本電気株式会社

- 風水害時の人流・SNS分析による、リアルタイム防災マップシミュレーション



# 【データ利活用実証プロジェクト】総括

## データ整備・流通段階で顕在化した課題から、都が関わるべきポイントを整理

### 成果

- 3密回避、交通混雑、バリアフリー、防災情報の4テーマは**いずれも民間ビジネスの活性化や都民のQOL向上に直結し得るものであることを検証**
- **事業を通して、想定していたニーズを改めて検証**

### 課題

- データの整備・流通段階において課題が顕在化

#### 【データ整備段階】

- データ自体が未取得
- データ化の未実行
- データの標準化が未整備
- データの未更新

#### 【データ流通段階】

- データが流通されていない
- データ流通が一元化されていない

### 都の関わるべきポイント

- ① **都の持つデータ・アセットの公開、活用**
- ② **民間ビジネスで経済性が成り立ちにくい分野での推進役**
- ③ **中立的立場での旗振り役として、データ標準化・流通促進**
- ④ **データ整備・流通の課題の背後にある、ルール・規制などの整備/緩和**
- ⑤ **都自らがデータ整備の恩恵を受ける主体として初期段階でデータ利用者になる**

# 令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

## 令和2年度

## 令和3年度

## 令和4年度 以降

### 事業推進PJ

### 利用者募集

### ユースケース 創出

### ポリシー 整備・運用

### システム 基盤構築

### データ整備

### 関連PJ

### 準備会

・事業範囲、WGの検討

### WGの設置

・民間事業者等と議論

### データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

### ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る  
ポリシー案1.0策定

### 3Dビジュアライゼーション

・3Dモデル検証

## 令和3年度

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

### 協議会

・事業内容、事業計画等の検討  
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

### WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

### 東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

### ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

### データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、サービス/業務/システムの要件検討

### 行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

### デジタルツイン実現プロジェクト

・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

## TDPF 運営組織 設立

# 【ポリシー】官民連携DPF ポリシー策定委員会 概要

官民連携データプラットフォームポリシー策定委員会では、TDPFを運営する組織が扱うデータの収集や提供・利活用に係る基本的な考え方（ポリシー）を検討

## 委員（同カテゴリ内50音順、敬称略）

|     |                                       |
|-----|---------------------------------------|
| 弁護士 | 板倉 陽一郎（ひかり総合法律事務所 弁護士）                |
|     | 日置 巴美（三浦法律事務所 弁護士）                    |
|     | 森 亮二（英知法律事務所 弁護士）                     |
| 学者  | 石井 夏生利（中央大学 国際情報学部 教授）                |
|     | 穴戸 常寿（東京大学大学院 法学政治学研究科 教授） <b>委員長</b> |
| 産業界 | 坂下 哲也（一般財団法人日本情報経済社会推進協会 常務理事）        |
| 消費者 | 沢田 登志子（一般社団法人ECネットワーク 理事）             |

# 【ポリシー】「ポリシー案1.0」の概要

## 準備会での議論や実証プロジェクト等の取組に基づいて、「ポリシー案1.0」を策定

### 昨年度の策定範囲

#### 準備会や 実証 プロジェクト等

「ポリシー策定委員会」からの提言も踏まえながら「準備会」、「WG」を通じて事業概要の大枠を策定

- TDPF事業におけるプリンシプル
- 事業概要（データ流通推進・データ整備）
- 取り扱いデータ範囲
- トラストアンカー※型での実施

ポリシーから必要に応じて提言  準備会決定事項を共有

#### ポリシー

準備会や実証プロジェクトでの  
検討内容に基づいた「ポリシー案1.0」を策定

- プライバシーステートメントでの対象情報をパーソナルデータとし、対象者をデータ提供者・利用者及びデータ主体と規定 **法令契約**
- トラストアンカー型で実施をしていく際に必要となる、データ提供時・利用時の基本的なルールを規定 **法令契約**
- TDPFがデータ整備の委託を請け負った場合に関する基本的なルールを規定 等 **法令契約技術**

### ポリシー案1.0の構成

官民連携データプラットフォーム  
データガバナンス指針

- パーソナルデータ保護とサイバーセキュリティ確保に加え、積極的なデータ利活用のために運営組織が取り組むこと等を規定

官民連携データプラットフォーム  
プライバシー  
ステートメント

- 対象とする情報(パーソナルデータ)、対象者(データ提供者・利用者及び個人)を定め、原則オプトアウトでのパーソナルデータの第三者提供をしない方針等を規定

官民連携データプラットフォーム  
コンプライアンス指針

- 各種の関係法令の遵守、運営組織の透明性を保つための体制の確立、データプラットフォームに係るコンプライアンス研修の運営組織内で実施等を規定

官民連携データプラットフォーム  
規約

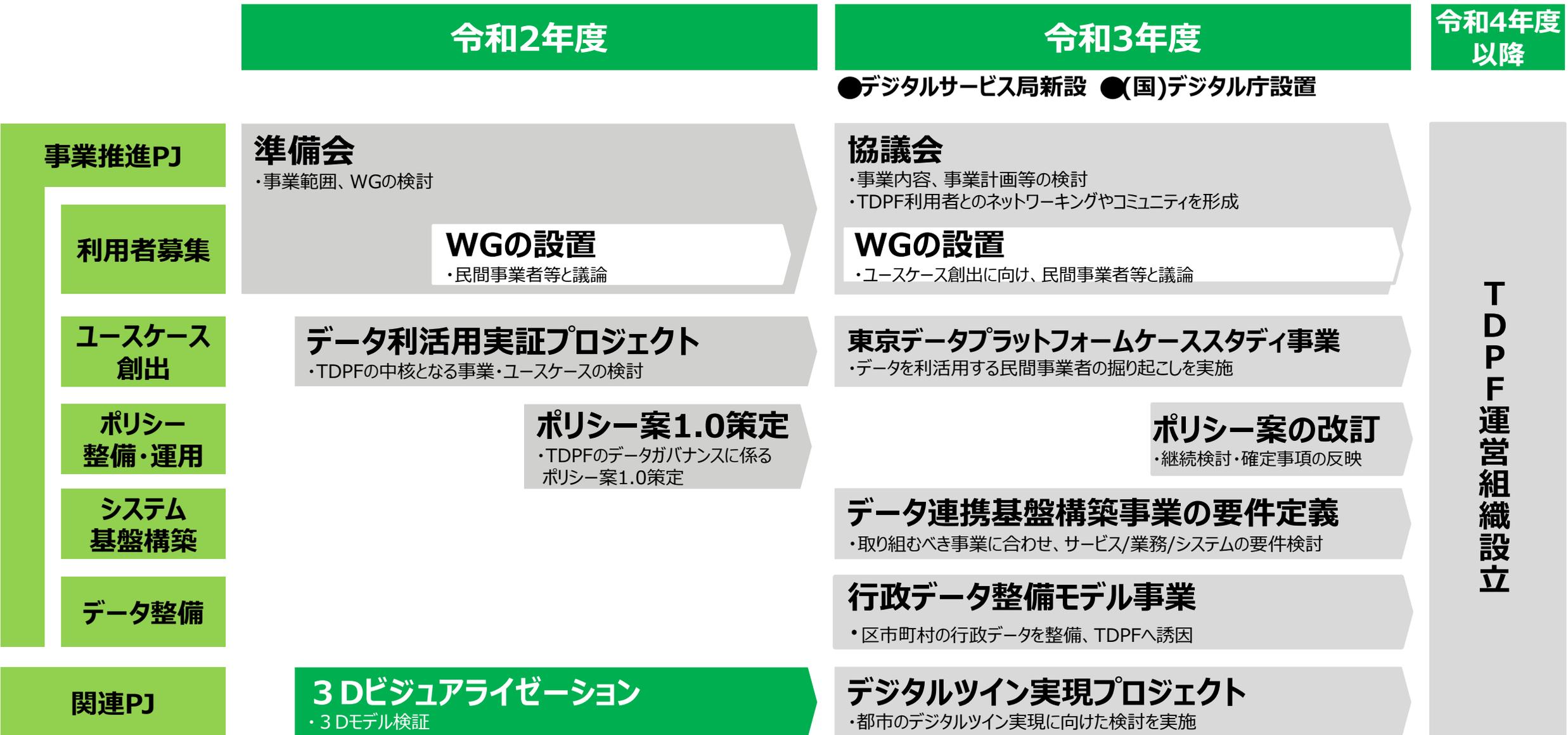
- サービス利用に関する入退会の基本内容及びデータ提供時・利用時の基本的なルール等を規定

官民連携データプラットフォーム  
情報セキュリティ  
ポリシー

- 東京都サイバーセキュリティ基本方針に準じ、データプラットフォーム事業者としてデータ流通時に留意する対策・最新のセキュリティに対する情報収集をしていくこと等を規定

※個人、法人、機器などのサイバー空間の存在（ID）の認証（審査・登録・発行・管理など）を担う機能のこと  
官民連携データプラットフォームでは、TDPFがデータ提供者とデータ利用者を審査することなどによって、トラストを担保し、保証すること

# 令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ



# 【3Dビジュアライゼーション実証】実施概要

## デモ用3D都市モデルの作成やコンセプト動画を作成し機運を醸成

### 公開コンテンツ等の概要

#### ①都市のデジタルツイン実現に向けたコンセプト動画



✓GPSによる位置情報※1を活用し、緊急事態宣言（令和2年4月～）の前後において、道路単位で流動人口の変化を可視化



✓データ利活用実証プロジェクト※2の内容を反映し、「エリア・ビル・フロア」における混雑可視化を実施



✓時間経過による日照の変化、ある地点における風況の変化のシミュレーションを実施



✓「街の混雑状況」で可視化した流動人口データをもとにして、地震発生時の避難シミュレーションを実施



✓主要な地下埋設物についての位置情報を、埋設物の属性情報とともに可視化

#### ②西新宿エリア 3D都市モデルデータ可視化

- デモ用に作成した西新宿の3D都市モデルをウェブブラウザ上で操作可能な形で公開（現状はアクセス停止中）

※1 許諾を得た上で送信されたGPSによる位置情報を利用

※2 官民連携データプラットフォーム データ利活用実証プロジェクト（令和2年度事業）PROJECT01



# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 【Mentimeter①】推進会議へ参加した理由は何ですか？

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください

Mentimeterによる回答は、会議でご案内したタイミングでのみ可能です

※全て匿名です)



※または、下記URLへアクセスし  
コードを入力してご参加ください  
URL : <https://www.menti.com>  
コード : 8165 4493

A screenshot of the Mentimeter web interface. At the top is the Mentimeter logo, which consists of a stylized bar chart with red, blue, and green bars, followed by the word "Mentimeter" in a bold, black, sans-serif font. Below the logo, the text "コードを入力してください" (Please enter the code) is displayed. Underneath this is a white input field with a thin grey border containing the code "12345678". Below the input field is a prominent blue button with the white text "参加する" (Join). At the bottom of the screen, there is a small grey note that reads "コードは目の前の画面にあります" (The code is on the screen in front of you).

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします

# 令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

## 令和2年度

## 令和3年度

## 令和4年度 以降

- 事業推進PJ
- 利用者募集
- ユースケース創出
- ポリシー整備・運用
- システム基盤構築
- データ整備
- 関連PJ

**準備会**  
・事業範囲、WGの検討

**WGの設置**  
・民間事業者等と議論

**データ利活用実証プロジェクト**  
・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

**ポリシー案1.0策定**  
・TDPFのデータガバナンスに係る  
ポリシー案1.0策定

**3Dビジュアライゼーション**  
・3Dモデル検証

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

**協議会**  
・事業内容、事業計画等の検討  
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

**WGの設置**  
・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

**東京データプラットフォームケーススタディ事業**  
・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

**ポリシー案の改訂**  
・継続検討・確定事項の反映

**データ連携基盤構築事業の要件定義**  
・取り組むべき事業に合わせ、サービス/業務/システムの要件検討

**行政データ整備モデル事業**  
・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

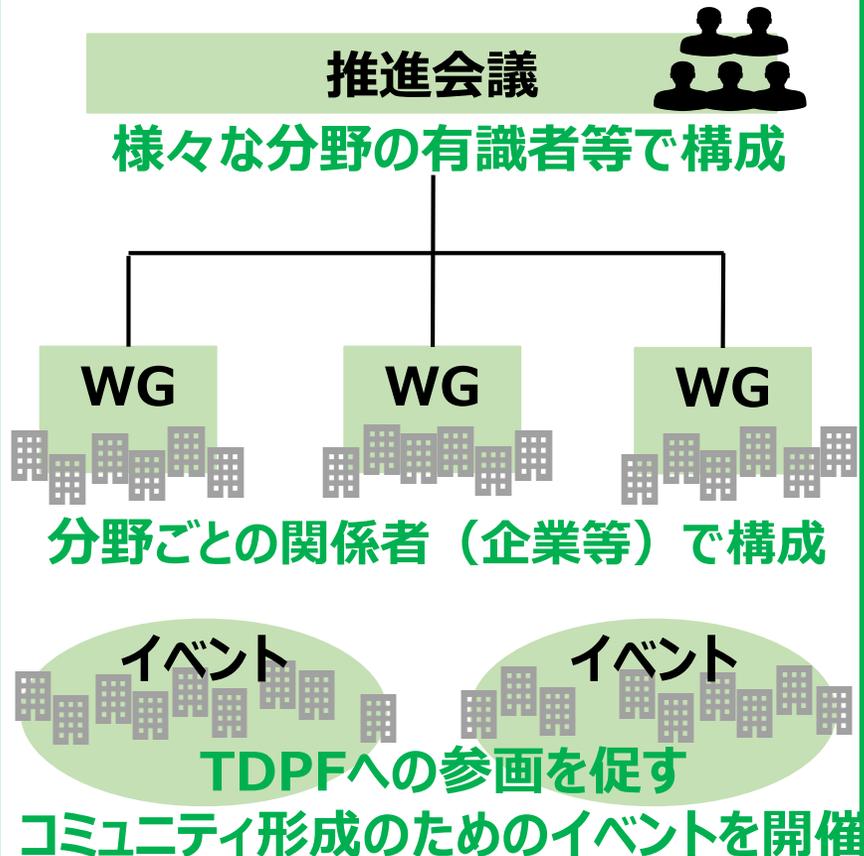
**デジタルツイン実現プロジェクト**  
・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

TDPF  
運営  
組織  
設立

# 【協議会】東京データプラットフォーム協議会の目的・実施内容

昨年度の準備会の検討結果を踏まえ、TDPFの事業詳細を検討し、WG活動やイベントを通じたコミュニティ形成を図る協議会を設立

## 東京データプラットフォーム協議会



## 実施内容

### 推進 会議

- 注力する分野・サービス内容、各WG活動等の情報共有・討議
- 業務設計、ポリシー、システム仕様等の検討状況報告
- 委員・臨時委員からの事例発表・提言等

### WG

- ユースケースの創出に向けた活動・議論を実施
- 各分野のデータ利活用の課題や対応策について協議
- 協議会メンバーとのコミュニティ・ネットワーク拡大を図る

### イベント

- WG活動の推進及び協議会メンバーのネットワーク拡大に向けたイベント実施（アイデアソン・オンラインセミナー等）

# 【協議会】準備会から協議会への変更点

今年度はTDPF事業のディスカッションに加え、コミュニティ形成・活性化を目指す

|        |             | 令和2年度<br>準備会   | 令和3年度<br>協議会  |
|--------|-------------|--|---|
| 目的     |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>■有識者等からTDPFの事業内容等について提言をいただく</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■有識者からTDPFの事業計画等に提言をいただく</li> <li>■データ流通促進に向け、<b>データ提供者・利用者とのネットワーク拡大</b>を目指す</li> </ul> |
| 主要な変化点 | 推進会議        | <ul style="list-style-type: none"> <li>■データ利活用に知見を有する学識者の方々を中心に議論</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■学識者に加え、<b>スマートシティや事業立ち上げ等の知見を有する民間有識者にも参加</b>いただき、議論を深化</li> </ul>                      |
|        | WG          | <ul style="list-style-type: none"> <li>■混雑WGにて、サービス実装の取組実施</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>■混雑WGはサブWGを設け活動拡大</li> <li>■<b>新規WG立ち上げ、サービス実装に向けた取組拡大</b></li> </ul>                    |
|        | イベント・コミュニティ | -  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■WG活動の活性化や<b>コミュニティ形成を図るべく</b>、アイデアソン・オンラインセミナー等の<b>イベントやオンラインコミュニティ</b>などを活用</li> </ul> |

# 【推進会議】テーマ案

各回の推進会議にて、事業計画の核となる事項に関する討議や、ユースケース案、実証結果等の情報共有をする予定

|            |       | 6月                                    | 7月～9月                     | 10月～12月         | 1月～3月                    |
|------------|-------|---------------------------------------|---------------------------|-----------------|--------------------------|
| 各回の主要アジェンダ |       | 第1回<br>協議会の取組方針<br>TDPFの注力分野          | 第2回<br>TDPFの注力分野<br>・業務設計 | 第3回<br>TDPF事業計画 | 第4回<br>活動総括・次年度<br>以降の活動 |
| WG         | 混雑WG  | ガイドライン、ユースケース案・サブWG実証結果の報告            |                           |                 |                          |
|            | その他WG | データ利活用の課題や対応策、ユースケースの検討状況等            |                           |                 | 次年度以降の進め方検討              |
| イベント       |       | イベント（アイデアソン・オンラインセミナー等）の企画案・実施内容・結果報告 |                           |                 |                          |
| 他事業等       |       | 他事業の進捗状況・結果、業務設計、ポリシー、システム仕様等の検討状況報告  |                           |                 |                          |

# 【WG】今年度の取組内容

## WG活動を拡大、ニーズ収集やルール整備等を通じユースケース創出を目指す

### WGの取組内容

- ・テーマごとに参加者を募集、年4回程度開催
- ・右記のような情報交換、ディスカッションを通じて、ユースケース創出・サービス実装を目指す

#### ■ ニーズ収集・企画検討

- 関連事業者のニーズをヒアリング

#### ■ 課題と対応策の検討

- 参画企業のヒアリングを通じてニーズ・課題を抽出

#### ■ ユースケースの創出

- サービス案検討
- サブWG等を活用し実証

#### ■ 標準化・ルール整備

- データ利活用推進に向けた諸整備を検討



- ・混雑WGに加えて、「スマート東京」\*のテーマ例等に基づき新規WGの分野を検討
- ・アイデアソン等のイベントを組合せ、活動を活発化

\* 出典 『未来の東京』戦略 P79

### WG活動の拡大・活性化イメージ

| 防災  | まちづくり   | モビリティ   | エネルギー   | 自然  | ウェルネス  | 教育  | 働き方   | 産業  |
|---|---|---|---|---|--|---|---|---|
|  |  |  |  |  |       |        |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ、ドローンで情報収集</li> <li>・AI危険自動検知</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3Dデジタルマップ</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転</li> <li>・MaaS</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消</li> <li>・デマンドコントロール</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水と緑</li> <li>・生物多様性</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りロボット</li> <li>・病気早期発見</li> <li>・遠隔診療</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適化教育</li> <li>・タブレット学習</li> <li>・遠隔授業</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク</li> <li>・単純業務AI化</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT、3Dプリンター</li> <li>・農林水産業自動化</li> </ul>     |

# 【イベント】取組概要（案）

今年度より、TDPFコミュニティを盛り上げる  
新しい取組として各種イベントを開催・開設予定

コミュニティ  
形成

アイデアソン

- テーマごとに関係企業等を集めて実施
- 具体的なサービスアイデアを創出



コミュニティ  
拡大

オンライン  
セミナー

- 協議会・WG・アイデアソンの成果を共有
- オンラインセミナーや動画のウェブ掲載を通じ  
本事業に興味・関心のある方へ継続発信



コミュニティ  
維持

オンライン  
コミュニティ

- Slackグループを立ち上げ、常時リアルタイムの  
コミュニケーションが可能な場を維持
- TDPF事業の最新情報を共有



# 【イベント】アイデアソンの概要（案）

## WGの土台作りとして、今年度はアイデアソンを実施する予定

### 当日の流れ（例）

STEP1  
アイスブレイク

STEP2  
アイデア出し

STEP3  
アイデア絞込み

#### POINT

質より量・突飛さ歓迎・批判禁止・他の人の意見に便乗



複数企業間でチームを構成し、ディスカッションを実施

有用なアイデアはユースケースとしてWGで検討

### 次のような目標に向け推進



今後協業可能性のある  
データ利用先との有用な  
コネクションづくり

異業種の方々との  
ディスカッションを通じて、  
新たな事業アイデアの創出



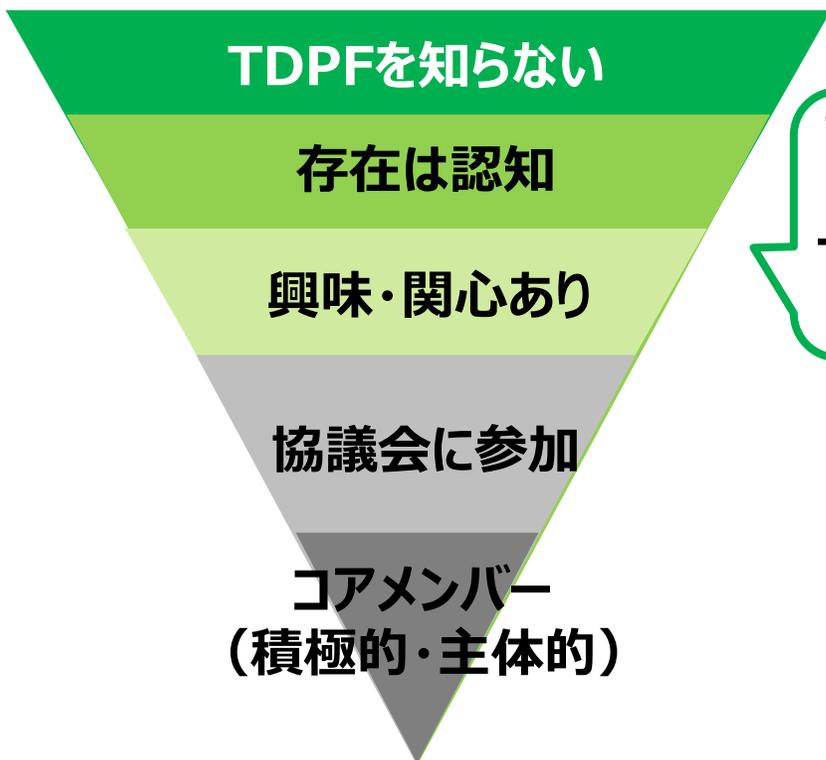
データの利活用について、  
闊達な雰囲気の中で参加者と  
有意義な意見交換の場の提供

# 【イベント】オンラインセミナーの概要（案）

## TDPFの将来ユーザーを増やすため、オンラインセミナーを実施予定

### 目的

TDPF事業の認知度を高め広くネットワーク形成することで、TDPFメンバーを増やす



協議会に未参画の  
企業をお誘いし、  
TDPFコミュニティを  
活性化

実施内容は皆様の声を反映予定

東京データプラットフォーム  
の未来地図  
～官民連携ILLUSTRATIVE東京～

×月×日 x:xx~

- ・TDPFとは
- ・ユースケース事例
- etc.

登壇者  
デロイトトーマツコンサルティング  
シニアマネジャー 廣瀬 史郎

アンケート機能等を用いてインタラクティブに実施

Q.どのWGに興味がありますか？



# 【コミュニティ】Slack招待方法

後ほど事務局より送付予定のSlackの利用ルール・ガイドラインを確認し、登録者情報をフォームに記入

## STEP①

事務局メールより、添付の利用ルール・ガイドラインを確認し、登録フォームに情報を記入

To : xxの皆様  
From : 事務局  
件名 : Slack利用意向の確認

- 概要
- 登録フォームURL (社名・登録者名等)



## STEP②

後ほど送られてくる招待メールのリンクより、アカウントを作成し、利用開始



※画像は全てイメージです

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

## 令和2年度

## 令和3年度

## 令和4年度 以降

### 事業推進PJ

#### 利用者募集

#### ユースケース 創出

#### ポリシー 整備・運用

#### システム 基盤構築

#### データ整備

### 関連PJ

#### 準備会

・事業範囲、WGの検討

#### WGの設置

・民間事業者等と議論

#### データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

#### ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る  
ポリシー案1.0策定

#### 3Dビジュアライゼーション

・3Dモデル検証

## 令和3年度

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

#### 協議会

・事業内容、事業計画等の検討  
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

#### WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

#### 東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

#### ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

#### データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、サービス/業務/システムの要件検討

#### 行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

#### デジタルツイン実現プロジェクト

・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

TDPF  
運営組織  
設立

# ケーススタディ事業 (1/2)

ケーススタディ

ポリシー

データ連携基盤

データ整備

デジタルツイン

## 目的

- TDPF利用候補者がデータ利活用の成功体験を得ることで、利活用意欲を醸成する
- TDPF顧客集客及び利用促進活動に利用する利活用事例（ケーススタディ）の創出・蓄積

## 事業内容

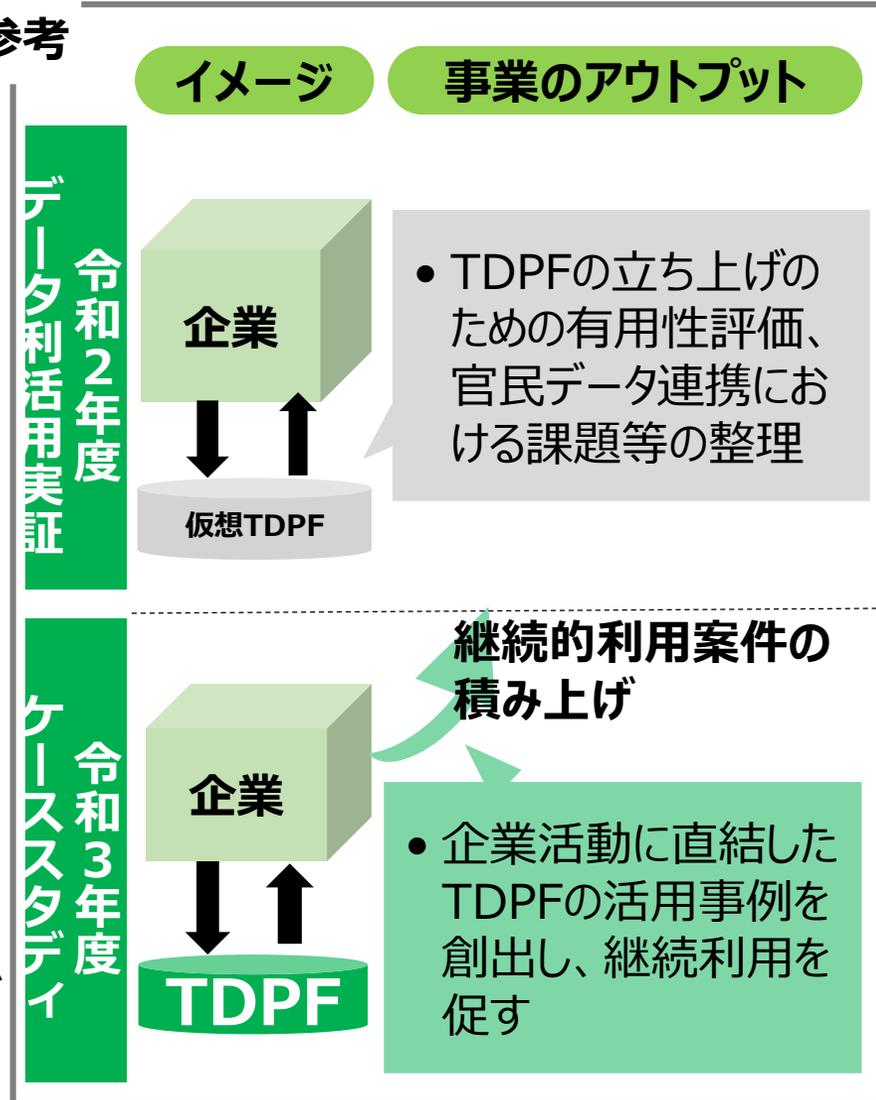
### ① TDPFの継続利用に繋がるケーススタディ作成を、以下から計3件公募

- 1) 混雑情報を活用するユースケース
  - 施設内の混雑データ等を活用するもの
- 2) 既存のデータリソースを活用するユースケース
  - 庁内データ又はその他行政機関のオープンデータを活用するもの
- 3) TDPFの参加者のニーズを基にしたユースケース
  - 民間保有データを活用し、ニーズ発掘に資するもの

昨年度事業から得られた都の関わるべきポイントをもとに選定を行う  
-都の持つデータ活用促進、中立的立場でのデータ標準化/流通促進など

### ② 得られたケーススタディを利活用事例として、積極的に広報

## 参考



## 実施内容・スケジュール

|               | Step1<br>公募・選定<br>(4~6月)  | Step2<br>プロジェクト実施<br>(7~12月下旬)  | Step3<br>プロジェクト成果発表<br>(翌2月上旬)                                   | Step4<br>評価<br>(翌3月)   |
|---------------|---|---|--|--|
| 1<br>事例<br>創出 | <ul style="list-style-type: none"><li>• テーマ設定</li><li>• 公募・選定</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>• 各プロジェクト実施</li><li>• 進捗状況の開示</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>• 成果発表会実施</li></ul>        | <ul style="list-style-type: none"><li>• 活用事例の分析</li><li>• アウトプット資料作成</li></ul> |
| 2<br>事例<br>広報 | <ul style="list-style-type: none"><li>• 特設HP等で広報展開（実施状況等を掲載）</li><li>• 関心の高い事業者へ適切に周知</li><li>• TDPF事業への参加意欲を高める企画実施（ミニイベント等）</li></ul> |   | <ul style="list-style-type: none"><li>• 成果発表会を動画で撮影・公開</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>• アウトプット資料公開</li><li>• 事業者等に広報</li></ul> |

## 事業内容詳細・組織体制等の検討状況を踏まえ、必要に応じて改訂を実施

昨年度(ポリシー案1.0)

今年度以降

TDPF  
事業検討

「ポリシー策定委員会」からの提言も踏まえながら「準備会」、「WG」を通じて事業概要の大枠を策定

「協議会」「ケーススタディ事業」「行政データ整備」等を通じて事業内容・組織体制等の詳細を策定

- TDPF事業計画・内容詳細策定
- データ連携基盤構築事業の要件定義のとりまとめ
- 都内区市町村のデータ加工作業
- ユースケースの具体化

ポリシーから必要に応じて提言

準備会決定事項を共有

検討結果等を共有

ポリシー

準備会や実証プロジェクトでの検討内容に基づいた「ポリシー案1.0」を策定

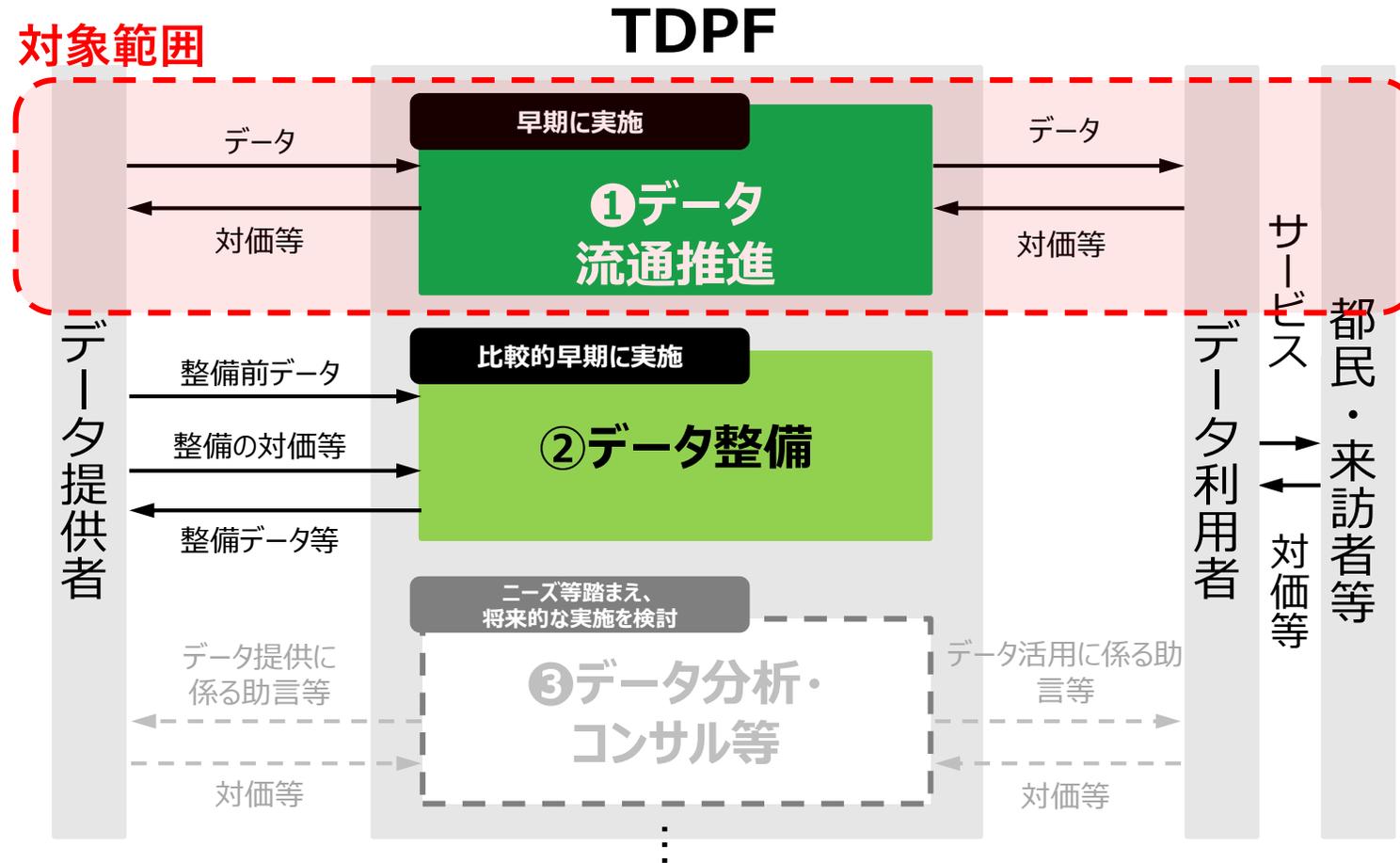
事業内容詳細・組織体制等に基づき必要に応じて改定

- 事業内容詳細・ユースケースの具体化に伴い修正・追加が必要となる条項案の改訂  
(例)  
パーソナルデータの利用目的詳細化、データ提供者・利用者に求める事項やTDPFが関与する範囲の詳細化、責任・免責・罰則の詳細化 等

- 昨年度事業の結果を踏まえて、TDPF運営組織が構築すべきデータ連携基盤に関する要件を定義する

## 要件定義の範囲（案）

- データライブラリ
  - 官民の各種データを一元的に検索・利用可能な基盤を提供
- データ流通プラットフォーム
  - 官民の各種データの取引条件を定め、データの仲介機能を提供（段階的）
- ダッシュボード
  - 会員ごとに利用状況取引履歴が確認できるダッシュボード機能 など



## 目的

- 昨年度の実証で明らかとなった自治体のデータ保有の課題や、準備会で議論されたデータの質向上
- 機械判読可能な形式へのデータ整備手法をモデル化し、TDPFを通じた区市町村のデータ利活用を促進

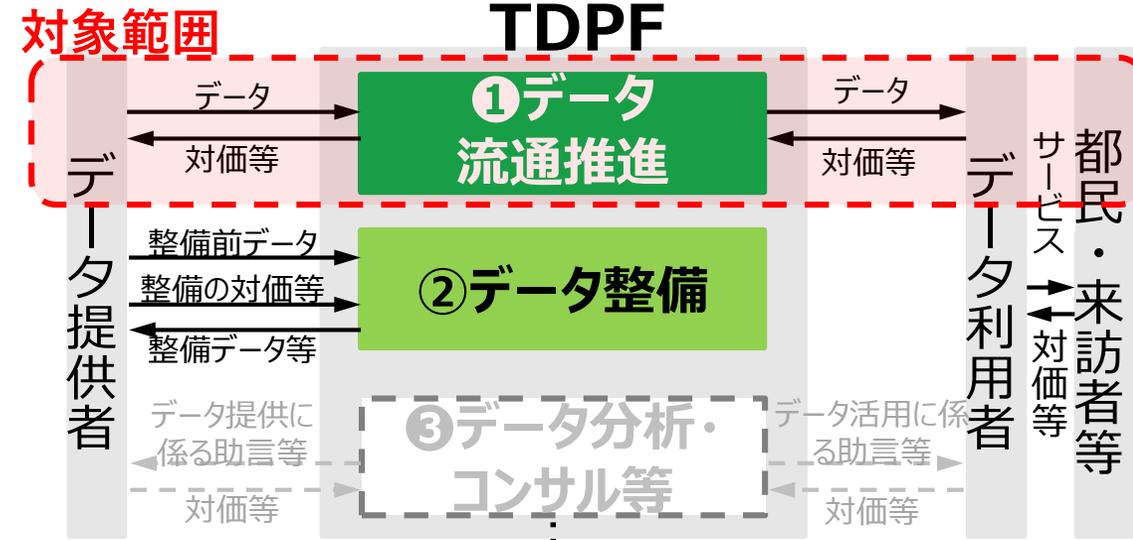
## 事業内容

- (1) 有識者や民間事業者へのニーズ調査
- (2) 区市町村保有データの調査（ヒアリング、アンケート）
- (3) データ加工作業（機械判読可能な形式に変換、各種標準フォーマット対応など）
- (4) 整備内容をマニュアル化し、都内区市町村へ取組を発信

## 実施内容

### 整備対象データの候補（案）

- デジタル化されていても機械判読が難しいデータ
  - 地域・年齢別人口情報など
- 地図情報でありながら、座標（緯度経度情報）がないデータ
  - ハザードマップ、バリアフリーマップなど
- 紙に記載されたままの情報
  - 営業許可・届出、各種申請書など



# デジタルツイン実現プロジェクト

ケーススタディ

ポリシー

データ連携基盤

データ整備

デジタルツイン

## 目的

- サイバー空間とフィジカル空間の融合によるデジタルツインの社会実装を加速
- 庁内各局の業務にどのようにデジタルツインを活用・実装していくべきか検討

## 今年度の 主な実証

地下空間も含めたリアルタイム  
人流可視化

地下埋設物の3D化による  
業務改善効果検証

携帯電話を活用した  
デジタルマップ更新検証

専用WEBサイト構築

ロードマップの策定

東京都における「都市のデジタルツイン」  
社会実装に向けた検討会

## 目的

- 東京都がデジタルツイン事業に取り組む意義の明確化
- ロードマップ策定に向けた方向性への意見聴取
- 実証で明らかとなる技術的対応方策の検討

予定  
時期

回数

アジェンダ

|              |     |  |
|--------------|-----|--|
| 令和3年<br>6月8日 | 第1回 | 取り組む意義の確認、ロードマップ策定に向けた方向性の意見聴取 等       |
| 令和3年<br>7月   | 第2回 | ロードマップ初版に係る意見聴取 等                      |
| 令和3年<br>10月  | 第3回 | 実証事業及び専用webサイト中間報告、ロードマップ第二版策定に向けた論点整理 |
| 令和4年<br>1月   | 第4回 | 実証事業及び専用webサイト結果報告、ロードマップ第二版の進捗報告      |

## 社会実装に 向けた 具体的検討

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

## ■ TDPF協議会の取組内容・方針について

- コミュニティ形成/ネットワーク拡大に向けた方策
- 推進会議で採り上げるテーマに関する意見  
(国・自治体、民間企業・団体、法令等の最新動向を踏まえて)
- その他、本協議会を運営する上での留意点・助言

## ■ 関連事業についてのご意見

- 東京データプラットフォーム ケーススタディ事業
- 東京データプラットフォーム ポリシー案の改訂
- データ連携基盤構築事業
- 行政データ整備モデル事業

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 【フォーカス分野】選定に向けた観点

5つの観点を重視し、TDPFがフォーカスすべき分野を検討中

- 1 東京都として重点的に取り組む必要があること（「未来の東京戦略」等を参照）
- 2 中央省庁や民間企業等の取組と他のデータプラットフォームとの棲分けが明確であること（特に民間のデータ利活用が進展していない分野）
- 3 基礎自治体単位ではなく、広域自治体である東京都が取り組む必要性があること
- 4 行政の介入なくして埋まらない需給ギャップ※が相対的に大きいこと
- 5 個人情報を含まないデータで、十分な価値提供ができること

※ 市場の原理に任せていては、需給のバランスがとれていない状態

# 【フォーカス分野】検討状況

## 防災データWG、データ収集検討WGを有力候補として設立を検討中

### TDPFで想定される役割

既存WG

混雑



- 複数の事業者が独自に混雑情報を提供しており、都民・来訪者が網羅的に確認しにくい
- 事業者間でデータ連携方式のガイドラインが必要

新規WG候補

防災  
データ  
(仮称)



- 防災に役立つデータの官民間での流通拡大
- ニーズや提供条件に応じて必要な範囲でデータ連携

新規WG候補

データ収集  
検討  
(仮称)



- 広く民間企業にデータを提供いただくには、提供条件や機運醸成が必要
- データ信頼性を確保するために、利活用ニーズを踏まえた更新ルールを検討

### ユースケース例

- 地図サービス上での施設混雑状況確認
- インフラ稼働情報を活用し、店舗の営業可否判断、安全な物流ルート選択
- 地図サービスやWebサイトへの施設情報掲載

# 【混雑WG】今年度の混雑WGの取組内容

## 活動① 混雑情報の 利用価値 向上活動



活動①-1  
混雑情報と他のデータの  
掛け合わせ

活動①-2  
混雑情報のニーズ  
吸い上げ・利用者開拓

## 活動② 混雑情報の 流通促進活動



活動②-1  
混雑情報の一覧化

活動②-2  
混雑情報の流通最大化のため  
のルール整備

① 協定企業の  
募集

② サブWG  
活動

## 今後の予定

### ■ 下記企業と協定を締結済

- 株式会社unerry
- エヌ・ティ・ティレゾナン  
ト株式会社
- 株式会社バカン
- 株式会MYCITY
- 株式会社ロコガイド

### ■ サブWG組成に向け、パートナー企業 募集について準備中

混雑WG

サブWG【店舗送客など】...

選定企業

混雑情報

活動パートナー

店舗情報

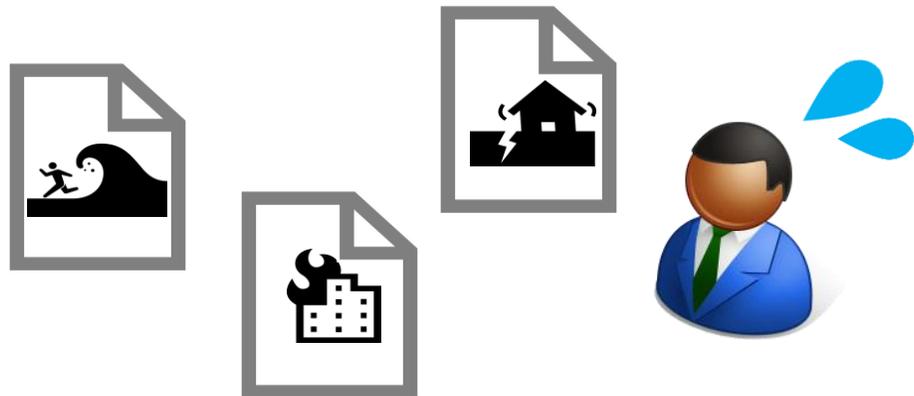
※第一回混雑WG事務局資料を改編

[https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/society5.0/dpf\\_working\\_01.html](https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/society5.0/dpf_working_01.html)

# 【防災データWG (仮称)】課題と取組の方向性

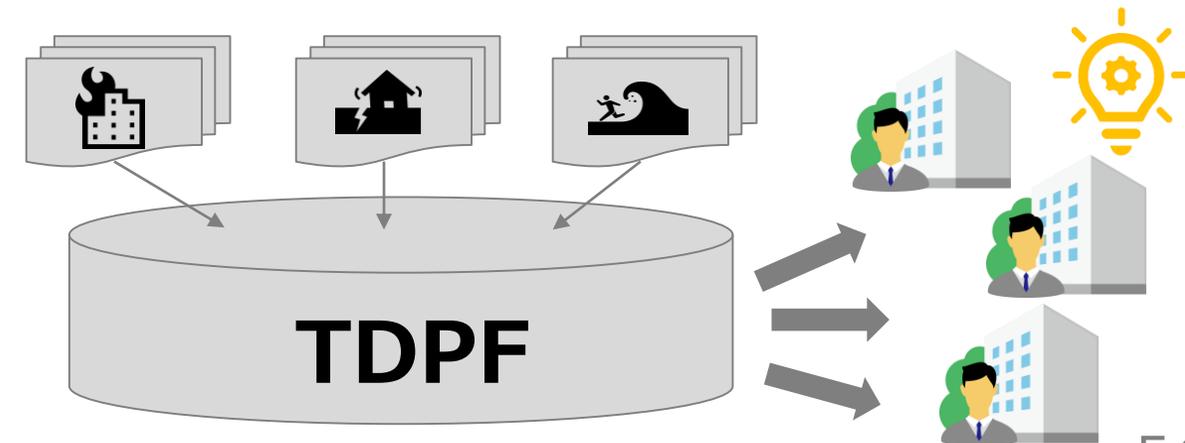
## 課題

- 防災関連のデータの**流通・活用**については、**官民の連携など拡大の余地あり**
  - 災害による被害状況など防災関連のデータを利活用するニーズはあるが、正確な情報の取得・流通に時間を要し、有効活用されていない
- **被害実績などのデータの項目等が異なり、位置情報が把握できないものがある**
  - 2次利用を踏まえた整備・標準化ができていない



## 取組の方向性

- 行政が保有する防災関連のデータを提供して**旗振り役**となるとともに**行政自身がデータを活用**することで利用価値を体現し、**自治体にデータ流通**を促す
- 緯度経度情報などの**防災サービスに必要な情報を洗い出し**、それらの**整備・連携方法を検討**する



# 【防災データWG (仮称)】概要

## 防災関連データの利活用を推進するWGを設立

検討課題例

- 防災関連データの利活用に向けた、**ニーズや課題出し**
- ニーズや課題を踏まえた**対応策の検討**
- 防災関連データの利活用に向けた**TDPFの役割整理** …等

参加者例

自治体



防災システム  
事業者



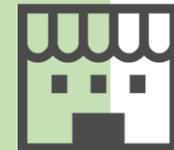
防災関連機関



物流事業者



小売事業者

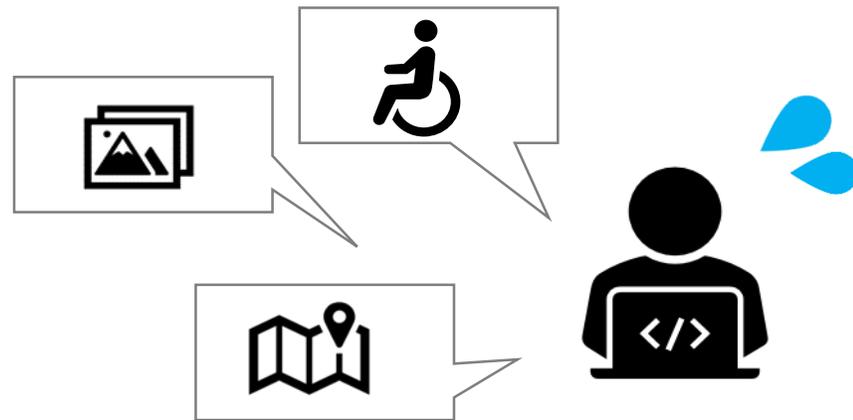


…等

# 【データ収集検討WG（仮称）】課題と取組の方向性

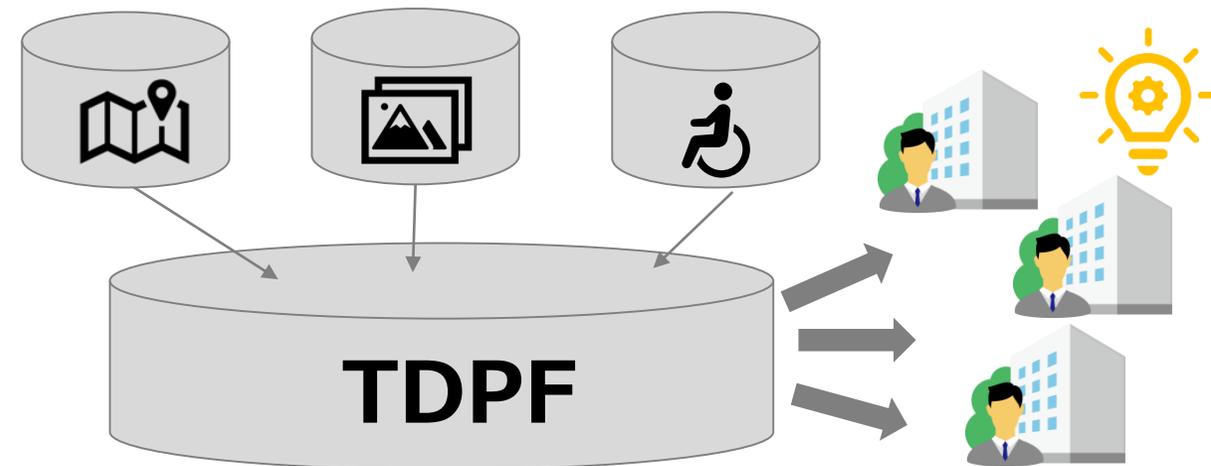
## 課題

- 施設データ等の流通において、提供条件等が十分に定められておらず、民間企業は漠然とした不安からデータ提供をためらうケースがある
- データの信頼性を確保するためには、最終確認日（更新日）を随時更新していくなどのルールを整備する必要がある



## 取組の方向性

- 提供したデータの利用者を限定したり、利用条件を明確にするなど、**企業側のリスクを低減できる条件などを検討**
- 利活用ニーズを踏まえ、ユーザーからのフィードバックなどを用い、データの**信頼性を示す指標や、更新ルールなどを検討**



# 【データ収集検討WG（仮称）】概要

## 官と民の施設・設備データを集約し、利活用を推進するWGを設立

検討課題例

- 特定エリアにおける施設情報を、**官民横断で収集** 
- 民間企業にデータ提供を依頼する際の**条件を整理** 
- 利活用ニーズを踏まえた**更新ルールなどを検討** ...等

参加者例

自治体 

エリアマネジメント  
組織 

宿泊事業者 

地図サービス  
事業者 

ポータルサイト  
事業者 

...等

# 全体スケジュール（案）

| 令和3年度 |               | ～6月        | 7月～9月              | 10月～12月                  | 1月～3月      |
|-------|---------------|------------|--------------------|--------------------------|------------|
| 推進会議  |               | 第1回        | 第2回                | 第3回                      | 第4回        |
| WG    | 混雑WG          | 第1回        | 第2回                | 第3回                      | 第4回        |
|       | 防災データWG(仮称)   | WG設立・準備    | WG新設後 各年4回程度の開催を予定 |                          |            |
|       | データ収集検討WG(仮称) |            |                    |                          |            |
| イベント  | アイデアソン        |            | アイデアソン             | アイデアソン（WG活動スケジュールにあわせ設定） |            |
|       | セミナー          |            |                    | オンラインセミナー                | オンラインセミナー  |
| 関連事業  | ケーススタディ       | 事業者の募集・選定  | 実証                 |                          | 最終報告発表会    |
|       | ポリシー策定        |            |                    | 必要に応じ改訂案策定               | 意見聴取・改訂案完成 |
|       | デジタルツイン       | 各種意見聴取     | 実証                 |                          | 実証結果報告     |
|       | データ整備事業       | アンケート・結果分析 | ヒアリング              | データ収集                    | データ変換・検証   |
|       |               |            |                    |                          | 公開         |

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 【Mentimeter②】どのWGに興味がありますか？

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください

Mentimeterによる回答は、会議でご案内したタイミングでのみ可能です

※全て匿名です)



※または、下記URLへアクセスし  
コードを入力してご参加ください  
URL : <https://www.menti.com>  
コード : 8165 4493

A screenshot of the Mentimeter poll interface. At the top is the Mentimeter logo, which consists of a stylized bar chart with red, blue, and green bars, followed by the word "Mentimeter" in a bold, sans-serif font. Below the logo is the instruction "コードを入力してください" (Please enter the code). There is a text input field containing the code "12345678". Below the input field is a blue button with the white text "参加する" (Join). At the bottom of the interface, there is a small grey text note: "コードは目の前の画面にあります" (The code is on the screen in front of you).

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします

## ■ TDPFがフォーカスすべき分野について

- 今年度活動予定のWG分野/ユースケースについての助言  
(混雑、防災データ(仮称)、データ収集検討(仮称) )
- その他注力すべき分野/ユースケースについての提言

# 本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 昨年度までの振り返り
4. 協議会の目的、取組内容
5. 令和3年度事業の紹介
6. 南雲委員からの発表
7. 意見交換①
8. フォーカス分野の選定 ～WG活動検討状況～
9. 意見交換②
10. 閉会の挨拶

# 10. 閉会挨拶

東京都 デジタルサービス局長 寺崎 久明

# 今後の予定について

## ■ 次回推進会議：令和3年7-8月中を予定

## ■ 事務連絡

- ・本会議終了後、アンケートを送付します。ご協力お願いいたします。  
【今後のTDPF事業の参考とさせていただきます】
- ・本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。  
是非ご登録お願いいたします。